



太陽っ子

かしこく
やさしく
たくましく

第3号

令和3年6月18日

大野小学校

文責 上原

「当たり前を増やし、 続けていこう」

新年度が始まって2ヶ月。6月2日の全校集会で、子どもたちに「当たり前を増やし、続けていこう」という話をしました。まず、「当たり前」クイズとして、次のことを例にあげ、「当たり前」にできていること、「当たり前前」と思っていることを心の中で数えてもらいました。

- 「早寝・早起き・朝ご飯」
- 「はみがきをする」
- 「自分で着替える」
- 「気持ちのよい挨拶」
- 「ルールや決まりを守る」
- 「忘れ物をしない」
- 「授業に集中する」
- 「ハイーと返事」
- 「宿題をする」
- 「手を上げて発表する」
- 「無言で掃除をする」
- 「係・当番の仕事を頑張る」
- 「友達に優しくする」
- 「これらは、ぜひ子どもたちにできるようになって欲しいことです。低学年



の場合は、お家の方の応援が必要なものもあるかもしれませんが、学年が上がるとつれて、「当たり前前」にできることが増えていくはず。 「当たり前」が増えると、体とともに心が成長し、自信がつかえます。いろいろなことを自信もってできるようになり、笑顔で毎日を送ることが出来ます。そして、みんなが当たり前前であることを当たり前前にするようにすると、気持ちよく、楽しく過ごせることができます。



でも、「当たり前」を続けていくのは簡単のようで難しいことです。ぜひ、自分の「当たり前」を増やし、自信を持って毎日を送って欲しいと伝えました。



また、学級みんなの「当たり前前」を話し合ったクラスもあります。みんなで決めた「当たり前前」を大切に、楽しく、気持ちよく過ごせる学級にして欲しいと思います。

伸ばしたい力

学校では、教科の学習以外にも学級活動や行事、係・委員会活動、給食、掃除…など様々な活動を行っています。本年度の大野小では、保護者や地域の方と連携し、それら全ての教育活動を通して、未来を生きる子どもたちに、次のような力を伸ばして欲しいと考えています。

- 課題解決に向かう力
これまでの学びや経験を生かして、自ら課題に向かい解決していく力
- 共感・協働できる力
相手の気持ちに寄り添い、目標に向かって力を合わせ活動する力
- 自ら行動しやり抜く力
自ら気づき、考えて行動し、目標に向かって努力する力

もしもに備えて…

6月14日（月）の「引き渡し訓練」お世話になりました。今回は大雨を想定して実施しました。梅雨本番で、大雨への警戒は必要ですし、自然災害はいつでも起こるかわかりません。もしもの時に備え、子どもたちの命と安全を守るために、訓練で見えた課題を今後にかかしていきます。また、各ご家庭でも、災害等に対する備えについて話し合ってみてください。

「心のきずなを深める」

熊本県では、6月を「心のきずなを深める月間」といじめを許さない学校・学級づくりを目指して」と定め、いじめの未然防止に向けた総合的な取組を推進しています。

学校では、日々の学習や活動を通じた「仲間づくり」を進め、お互いに認め合い、支え合う集団、子どもたちが安心して学び合う環境作りに取り組んでいます。

また、6月を「教育相談月間」とし、子どもたちに寄り添い、子どもたちの悩みや心配事を把握し、解消するよう努めています。併せて、人権集会を実施し、自分を大切に、そして周りの友達も大切にすることについて考える機会を持っています。

子どもたちが一緒に学習や活動をする中では、トラブルが起こることもあります。これらの経験が一人一人の成長につながり、子どもたち同士のきずなが深まるようご家庭と連携しながら指導していきます。お子さんの様子や学校のことなどで気になることなどありましたら、担任や学校にご相談ください。

